

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



こまつ かいぞう
小松 快造
(富岳会)

北山用水世界かんがい施設遺産登録について

問 ①世界かんがい施設遺産とはどのようなものか。②申請のきっかけはどのようなことだったのか。③登録される際に評価されたことは何か。④登録後、北山山宮地区にて想定されることは。⑤登録を維持するために何が必要か、また、管理には何が必要か。⑥地域の方々に、登録されたことや今後求めることをどのような形で周知していくのか。

部長 ①建設から100年以上が経過し、歴史的技術的価値のあるかんがい施設、かんがいの歴史や発展を明らかにし、適切な保全に資するため認定し、持続的な活用や保全方法などを提供。②平成30年、第4回全国小水力発電大会in富士宮において、「徳川家康と本門寺掘」冊子を作成。それにより、北山用水に対す

る理解が深まり多くの関係者の後押しや協力により申請に至った。③北山用水は1582年に建設を始め、7つの浸食谷を横断するため木製の箱樋、埋樋、掛樋など優れた技術が用いられ、土石流を避けた優れた技術が評価され、北山用水の豊富な水量と落差を利用した小水力発電(4か所)が行われ、二酸化炭素を発生しないクリーンな電力を生み出していることも評価された。④すでに登録済みの県内4つの施設事務局に伺ったところ、他市町からの視察や地域住民の見学者が増え関心の高まりを感じる。北山用水においても視察をはじめ多くの人を訪れることが想定される。⑤登録を維持するための修繕が必要な場合は市が主体的に行う。草刈りやごみ取りなどは、北山用水運営協力委員会が中心となって作業を行っている。地域の皆様にはなお一層北山用水を大切にす意識を持っていただきたい。⑥継承と地域づくりの起爆剤になるよう、取り組む。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

北部地域における太陽光パネル設置の現状と対応について

問 設置に際し、周辺住民から反対運動があるときの、当局の対応について伺う。

部長 モジュール面積が1,000平米を超える設備の設置には、自治会説明会及び近隣関係者説明報告書の提出を要する。住民の意見及び理解の深度を確認し、これらに留意した上で最終的な同意の是非の判断を行っている。

問 世界遺産のバッファゾーン周辺に係る景観への配慮を強化することについて伺う。

部長 遺産影響評価の考えは、影響が生じるおそれがある場合は、事業者に計画変更を求めたり、中止要請を行うことができる。本市としても、富士山の景観保全に万全の配慮を行う。

問 パネル設置における市長の考えを伺う。

市長 北部地域において、美しい景観や豊かな自然環境を保全し後世に継承していくことは、市の責務である。

プログラミング教育の現状について

問 「高校生と学ぶプログラミング教室」の評価と今後について伺う。

教育長 10月から月1回、全4回計画し、富士宮北高校で実施している。小学生約20人、中学生約10人の参加があり、意欲的に学んでいる。令和6年度には取組を拡大し、希望のある学校へ高校生や外部講師が出向いて、学級ごとにプログラミングを教える取組を検討している。

インフラ整備(道路及び河川の改修費用)の予算の推移について

問 予算動向及び配分について伺う。

部長 老朽化が進むインフラの維持管理、更新については、重要な課題の一つであると認識している。引き続き年度間の財政負担の平準化を図った上で、国・県補助金等特定財源の活用により意を用いながら予算措置を講じていく。